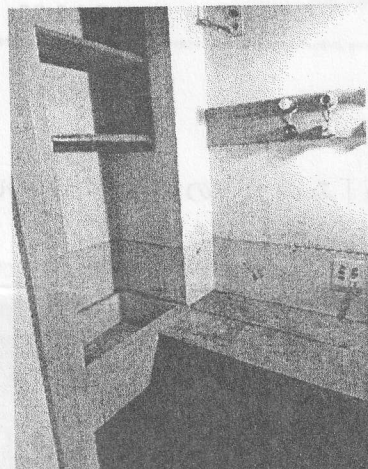
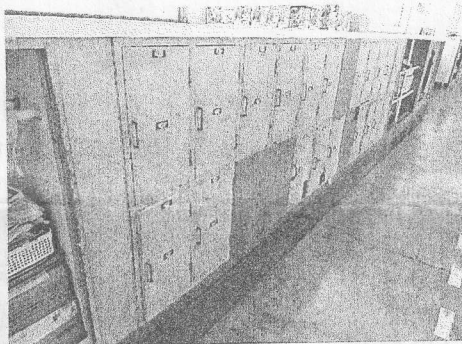


さようなら、なつかしい校舎

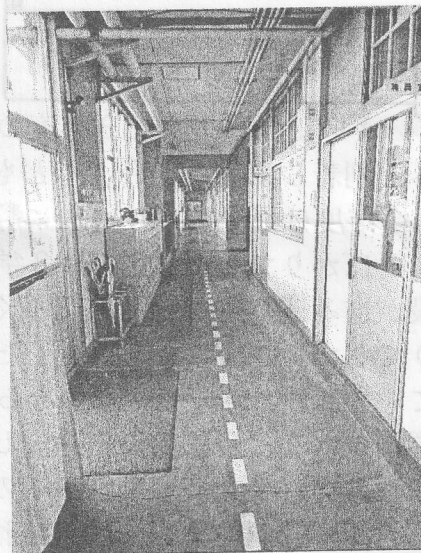
昭和40年～43年にかけて建設された南館。この歴史と伝統を刻んだなつかしい内装ともお別れです。天井が高く重厚な景色も間もなく現代風に生まれ変わります。



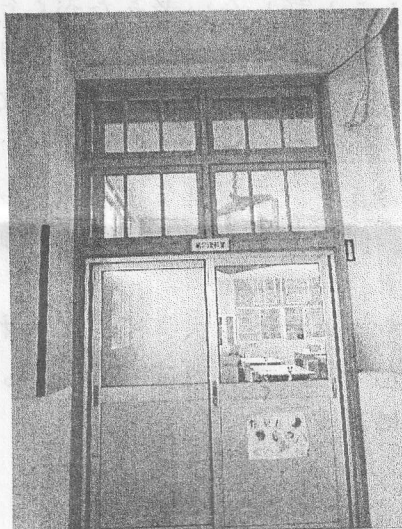
知る人ぞ知る、第2理科室の暗室。以前は写真の現像をしたり、理科の発芽実験をしたりしていました。



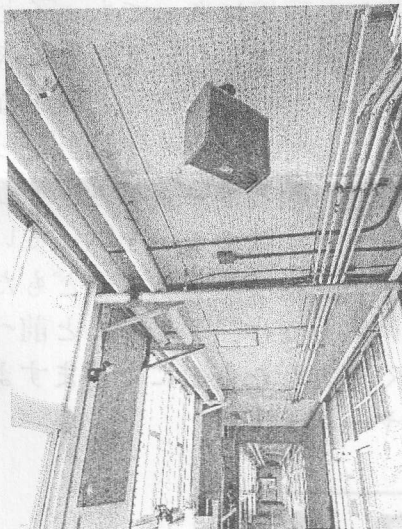
廊下に並ぶ木製ロッカー。ずいぶん傷んではきましたが、収納スペースがゆったりとしているのが南館の自慢の一つでした。



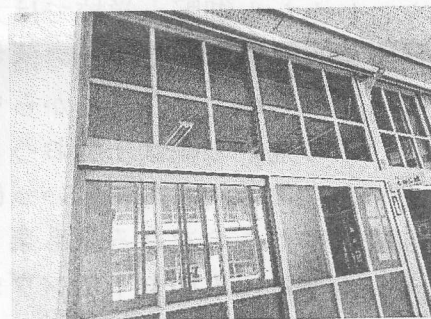
石の廊下に白いセンターライン。まっすぐ続くこの光景にはなんともいえない味わいが。配管がむき出しの天井も今となっては懐かしい。



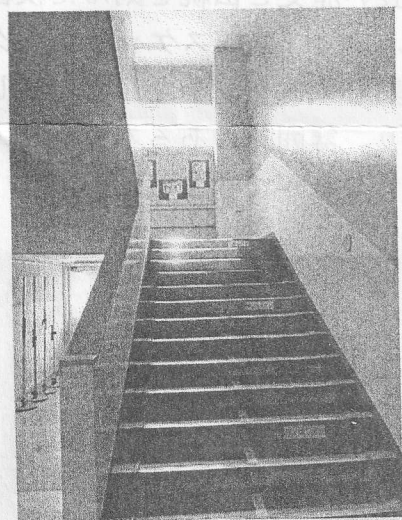
特別教室の入口の上にもおしゃれな天窓が。天井が高いため天窓も二段になっています。



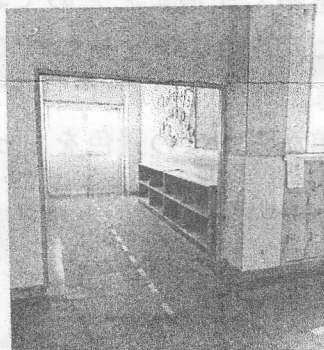
天井から吊り下げられたスピーカー。レトロの極み。歴代のたくさんの御っ子が耳を傾けていたのですね。



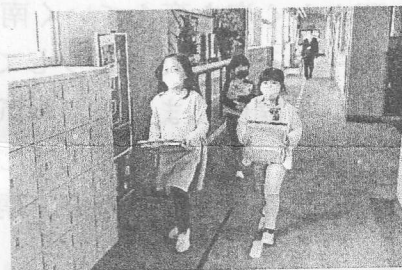
各教室の廊下側の窓は木枠。今では珍しいすりガラスが入っているところも。鍵はねじ式です。



光が降り注ぐ明るい階段。壁ははがれおちて危険だったので、きれいに塗り替えられています。石造りの手すりは重厚感があります。



北館へ向かう渡り廊下への通路。木製の棚も以前は活躍していました。



今週から始まった引越し作業。子どもたちも手分けをして図書館の本を運びます。「落とさないよう気を付けなくちゃ。」